

試聴会・訪問記掲載

河口無線ハイファイディリティ試聴会報告(2015.3.28)

ラックスマンのセパレートアンプ「C-700u/M-700u」と、ラックスマンが輸入を開始したイギリスのスピーカー”ミッション”の試聴会に行ってきました。使用機材は次のとおりです。

<使用機材>

プリアンプ：ラックスマン・C-700u

パワーアンプ：ラックスマン・M-700u

プリメインアンプ：ラックスマン：L-507uX

SACD プレーヤー：ラックスマン・D-06u

アナログレコードプレーヤー：ラックスマン・PD-171A

フォノイコライザーアンプ：ラックスマン・E-200

スピーカーシステム：ミッション・SX-5

スピーカーシステム：B&W・800Diamond



ラックスマン プリアンプ C-700u ¥626,400



ラックスマン パワーアンプ M-700u ¥626,400



ラックスマン USB 入力付き SACD プレーヤー D-06u ¥626,400



ラックスマン フォノイコライザーアンプ E-200 ¥105,840



ラックスマン プリメインアンプ L-507uX ¥464,400



ラックスマン ベルトドライブプレーヤー PD-171A ¥534,600



ミッション スピーカーシステム SX-5 ¥388,800 (ペア、チェリー)



B&W スピーカーシステム 800Diamond ¥3,672,000 (ペア)

<試聴の経過>

最初はL-507uXでミッションのSX-5を駆動する組み合わせでD-06uによるCD/SACDの再生から始まりました。ジャズボーカルとオーボエ協奏曲を聴きましたが、SX-5はよく弾む軽めの音がしていました。ついで、バッファローのNASであるDELAからハイレゾ音源として2.8MHzDSDのジャズと352.8KHzPCMの弦楽四重奏の再生があ

りました。いかにもハイレゾらしい音という印象でしたが、DSD とハイレゾ PCM の音の違いは拙宅の場合と同じ傾向でした。ついで PD-171A と E-200 によるアナログの再生でカートリッジはマイソニックのハイパーエミネントが使われました。ナットキングコールがかかりましたが、いかにもアナログと言う懐かしい音でした。

ここから、セパレートアンプの C-700u と M-700u で B&W 800Diamond の駆動に変更され、D-06u による綾戸千恵、シヨスタコーヴィッチの弦楽 Q、ジャズのライブがかかりましたが、先の組み合わせから一転してハイエンドサウンドになりました。ここでアナログに変わり、アルゲリッチのショパンと 45 回転のジャズがかかりましたが、ここでもリッチなアナログサウンドが楽しめました。最後に DELA からのポップスのハイレゾ音源と CD からリッピングされたコーブランドの市民のためのファンファーレがかかり、やはりハイレゾの音という印象でした。

総じてアナログサウンドにはデジタルにない魅力を感じ、DELA から直接 D-06u に USB 入力する再生方法にメリットがあるような印象でした。

なお、今回は間に合わなかったのですが、フォノコの上級機種 EQ-5000 の発売が予定されているというアナウンスがありました。真空管を用いた SRPP の CR 方式だそうで一度聴いてみる価値がありそうだと思っております。